

令和3年度 指導計画・評価計画 (学年:3 教科:音楽)

学期	題材	教材	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	<歌唱> 独唱曲(日本歌曲) ※共通教材	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方など技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。	[思] 音色・速度・テクスチャ・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態度] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組もうとしている。
1	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	<鑑賞> 交響詩を聴こう	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	[思] 音色・リズム・旋律・強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態度] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	<創作><鑑賞> 「リズム創作」	[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] リズム・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	[態度] 音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
2	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	<鑑賞> 管弦楽曲の魅力	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	[思] 音色・リズム・旋律・強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態度] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	<鑑賞> 協奏曲の魅力	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	[思] 音色・リズム・旋律・強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態度] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	<鑑賞> 交響組曲を聴こう	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色・旋律・テクスチャ・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態度] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	<鑑賞> 管弦楽曲を聴こう②	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色・旋律・テクスチャ・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態度] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2.3	全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう	<歌唱> 合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方など技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。	[思] 音色・速度・テクスチャ・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	[態度] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	<歌唱> 混声三部合唱	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色・旋律・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	[態度] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。

各観点の達成率80%以上…A 50%以上…B 50%未満…C

令和4年度 指導計画・評価計画 (3学年 美術)

学期	分野	領域	題材名	学習活動	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
					知識	技能	発想・構想	鑑賞	表現	鑑賞
1 学期	絵や彫刻など	鑑賞中心	北斎からゴッホへ	○北斎やゴッホの作品を比べ、日本と西洋の見方の違いや影響を感じるところを比べて見る。 ○感じたことや考えたことを話し合い他者の考えに関心をもち作品の見方を広げる。	作品を鑑賞して日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、美術文化への理解を深める。		日本、西洋それぞれの美術のよさや美しさを感じ取り、美術文化への見方や感じ方を深める。		主体的に鑑賞に取り組むことによって日本、西洋それぞれの美術のよさや美しさを楽しむ学習活動に取り組もうとしている。	
		表現中心	今の自分、これからの自分「自画像」	○ゴッホの自画像を参考に色彩やタッチを工夫して自画像を制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに自分らしさや思いなどを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分のあらわしたい内容にあった材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	今の自分や将来の自分を深く見つめ感じ取ったこと考えたことをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え創造的な構成を工夫し豊かに表現する構想を練っている。	創造活動の喜びを味わい、主体的に今の自分や将来の自分をテーマに自分自身を作品に表す表現の活動に取り組もうとしている。	自画像など自分をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の思いや表現の工夫などについて考えるなどして美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
		鑑賞中心	京都・奈良の世界遺産・重要文化財を調べる	○修学旅行で訪れる世界遺産や重要文化財について調べる。 ○レイアウトや色彩など構成を工夫してポスター形式にまとめる。	社会科や国語科で学習したことを生かして世界遺産や重要文化財の文化・歴史的価値に加え美術的価値を理解している。		仏教美術のよさや美しさを感じ取り、仏像の見方や感じ方を深める。		調べる対象の文化財の魅力を他者にわかりやすくまとめようとしている。	
2 学期	絵や彫刻など	鑑賞中心	「仏像の美しさ」を探る	○仏像の見方について学習する。 ○抽いてみたい仏像を選んでスケッチする。	仏像の種類や時代、作者による造形の特徴についての知識から造形表現の意図や工夫について理解を深める。		仏像の種類や時代、作者による造形の特徴をふまえて表現の意図や工夫について考えたり見方や感じ方を広げている。		仏像の造形的な特徴や美しさを探求する活動に楽しさや喜びを感じて、鑑賞活動に取り組もうとしている。	
		表現中心	「思い出を形に」	○切り絵について学習する。 ○修学旅行で撮った写真、または画像を選んで切り絵として構成する。 ○切り絵を制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに思い出の情景やその時の気持ちを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分のあらわしたい内容にあった材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	思い出の情景をあらわした作品や造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に思い出に残る場面やその時の気持ちをあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の思いや表現の工夫を感じ取る鑑賞の活動に取り組もうとしている。	
3 学期	デザインや工芸など	表現中心	「地域の魅力を伝える」	○地域の特色をあらわしたデザインに関心をもち、地域の魅力を伝えるために主題を考える。○主題をもとに形や材料、色などの構成を練る。 ○形や色、材料などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに地域の魅力を伝えるデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具を選び、表現方法を工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって創造的にあらわしている。	多くの人に自分の住む地域の魅力を伝えるために地域の特色などから主題を生み出し、形や材料、伝達の効果と美しさ等との調和を総合的に考え表現の構想を練っている。		商品のパッケージや地域のキャラクターなどからデザインの意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		鑑賞中心	「心安らぐ場をつくる」	○復興に向けて作られた建築物に関心をもち、役割や働きなどを考え見方や感じ方を深める。○感じたことや考えたことを話し合い作品の見方を広げる。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や建築物の造形的な特徴をもとにデザインの役割や働きを全体のイメージで捉えることを理解している。		復興に向けてつくられた建築物の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、地域の人々にとってのデザインの役割や働きなどを考えて見方や感じ方を深めている。		デザインの役割や働きについて見方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
評価材料					ワークシート・作品・定期考査		ワークシート・作品・定期考査		ワークシート・作品	

令和4年度 指導・評価計画（学年：3年 教科：保健体育）

年間授業計画

学期	1学期														2学期												3学期								
月	4月			5月				6月			7月		9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月				
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第3学年	1		体育 理論 {1}				保健<4>			体 つ く り				水泳	体育 理論 {1}	保健<8>							体育 理論 {1}	保健<4>			ダンス<11>								
	2	体づくり<6>		陸上競技<11>				球技<8>			水泳<6>			<4>	器械運動<9>			球技<8> ゴール型	球技<10> ネット型				球技<10> ゴール型												
	3						ベースボール型			<3>																									

各分野別・各領域別

分類	運動領域	運動種目	3年	第3学年での 選択方法
体育 分野	A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動	必修	ア、イ必修
	B 器械運動	ア マット運動 イ 鉄棒運動 ウ 平均台運動 エ 跳び箱運動	B,C,D,G から	ア～エから選択
	C 陸上競技	ア 短距離走・リレー，長距離走 または，ハードル走 イ 走り幅跳びまたは，走り高跳び	①以上 選択	ア及びイのそれぞれから 選択
	D 水泳	ア クロール イ 平泳ぎ ウ 背泳ぎ エ バタフライ オ 複数の泳法で泳ぐ、またはリレー		ア～オから選択
	E 球技	ア ゴール型 イ ネット型 ウ ベースボール型	E,Fから ①以上 選択	ア～ウから②選択
	F 武道	ア 柔道 イ 剣道 ウ 相撲		ア～ウから①選択
	G ダンス	ア 創作ダンス イ フォークダンス ウ 現代的なリズムのダンス	B,C,D,G から ①以上 選択	ア～ウから選択
	H 体育理論	文化としてのスポーツの意義	必修	

＜陸上競技・器械運動・水泳・球技・武道・ダンス＞

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 ・ 二 ・ 三 学期	<ul style="list-style-type: none"> 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点について理解している。 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組みや目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価基準	方法 材料	ア、定期テスト イ、学習カード ウ、授業観察	ア、授業に取り組む姿勢 イ、授業観察
	各観点の達成率80%以上をA、50%以上をB、50%未満をCとする。		

＜体育理論・保健分野＞

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 ・ 二 ・ 三 学期	<ul style="list-style-type: none"> 文化としてのスポーツの意義について、理解している。 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人生活を中心として、科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 救命救急法について、積極的に理解しようとしている。 救命救急法についての、状況に応じた手順を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化としてのスポーツの意義について、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりできる。 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して、科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、資料を見て、自分の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとしている。 講師を模範としながら、応急手当の実習に取り組んでいる
評価基準	方法	ア、定期テスト イ、学習カード	ア、授業に取り組む姿勢 イ、授業観察
	各観点の達成率80%以上をA、50%以上をB、50%未満をCとする。		

- ① 技術への「意欲・関心・態度」を育み、思考・体験活動を通して、生活の中にある技術に目を向けさせる。
- ② 練習題材から基礎的・基本的な技術(スキル)を習得し、活用できるようにする。
- ③ 発達段階に応じた題材設定を行い、課題解決に向けて能動的に取り組むことができるように促す。
- ④ 生活の問題点や改善点を発見し、様々な条件の中で解決方法を考え、実験する姿をめざす。
- ⑤ 各題材で、技術(テクノロジー)を評価し活用することを学習することで、持続可能な社会の構築を目指す生徒を育む。

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準と評価方法(％数値は5段階評定への配分割合)		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	【エネルギー変換に関する技術】 ・エネルギーの変換・利用と保守点検 ・機器安全に利用しよう	1 1 1 3	・私たちの生活とエネルギー ・電気供給する仕組み ・電気エネルギーの利用方法 ・テーパータップの製作と保守点検	・エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ・製作品の組立て・調整と点検ができる。 ・工具や機器を安全かつ適切に使用できる。 ・電気エネルギーの特徴と利用方法についての知識を身に着けている。 ・消費電力と電圧、電流の関係を理解し、電気機器の安全な取り扱いを判断することができる。	・エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。	・自然界のエネルギー資源に関心を持ち、資源がなかった場合の状況を考えようとしている。 ・エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A 80％以上 B 50％以上	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品
9 10 11 12	【エネルギー変換に関する技術】 ・エネルギー変換を利用した製品をつくろう	1 1 2 4	・短絡回路について ・導通試験と絶縁試験 ・電気部品について ・はんだ及びはんだ付けについて ・エネルギー変換教材の製作	・設計に基づき、適切に工具を使用し、安全を踏まえた製作品の組立て・調整を行うことができる。 ・電気回路の配線及び回路計などをを用いた点検ができる。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などを考慮し、製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを考えている。 ・学習した知識を自分たちの生活が安全かつ豊かになるよう活用しようとしている。	・意欲的に作品製作に取り組むことができる。 ・道具の管理、準備、片付け、清掃を進んで行おうとしている。 ・エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A 80％以上 B 50％以上	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品
1 2 3	【エネルギー変換に関する技術】 ・作品製作 ・エネルギーの有効利用について考えよう 【情報に関する技術】 ・プログラムによる計測・制御	1 3 3	・エネルギー変換教材の製作 ・計測・制御のプログラム作成 ・情報に関する技術の適切な評価・活用	・電気エネルギーの特徴と利用方法についての知識を身に着けている。 ・計測・制御システムにおけるインタフェースの必要性についての知識を身に付ける。 ・情報処理の手順についての知識を身に付けている。 ・学習した知識を自分たちの生活が安全かつ豊かになるよう活用しようとしている。 ・設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。	・学習した知識を自分たちの生活が安全かつ豊かになるよう活用しようとしている。 ・計測・制御の目的や条件を明確に、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	・省エネルギーや使用者の安全などに配慮して製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。 ・利用者への影響などを考え、プログラム作成しようとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A 80％以上 B 50％以上	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品

令和4年度 指導・評価計画(3年:技術・家庭科 家庭分野)

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	17.5
項目	幼児の生活と家族・家族・家庭や地域との関わり												金銭の管理と購入・消費者の権利と責任					
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の基本的な機能 ・家族について ・家庭のはたらき ・地域と家族、家庭とのかかわり 						<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心と体の発達 ・幼児の生活習慣 ・幼児の生活と遊び ・幼児とのふれあい ・家族や家庭、地域と幼児のかかわり 						<ul style="list-style-type: none"> ・消費者としての自覚 ・商品の契約 ・販売方法と支払い方法 ・消費者のトラブル ・よりよい消費者を目指して ・環境に配慮した消費生活 					

学期	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 2 学期	幼児の生活と家族・家族・家庭や地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	金銭の管理と購入・消費者の権利と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価基準	方法	ア ワークシートの内容(課題含む) イ 課題への取り組み ウ 授業態度 エ 定期考査	ア ワークシートの内容(課題含む) イ 課題への取り組み ウ 授業態度 エ 定期考査	ア ワークシートの内容(課題含む) イ 課題への取り組み ウ 授業態度 エ 定期考査
	A	上記観点を十分に達成したと判断できる場合	上記観点を十分に達成したと判断できる場合	上記観点を十分に達成したと判断できる場合
B	上記観点をおおむね達成したと判断できる場合	上記観点をおおむね達成したと判断できる場合	上記観点をおおむね達成したと判断できる場合	

観点の達成率
 A・・・80%以上
 B・・・50%以上
 C・・・50%に満たない

令和4年度 指導計画・評価計画 (学年：第3学年 教科：英語)

学期	単元	指導項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1	受動態 Show&Tell	<ul style="list-style-type: none"> 学習した表現を知識として理解している。 授業中の各活動や単元目標のパフォーマンステストにおいて、学習した表現を話したり、書いたりして実際に使うことができる。 学習表現を含む聞く活動、読む活動において、その内容をとらえることができる。 表現の活動において、使用する言語材料の指示がなくてもその内容や英文の構成に適した表現を適切に、正しく使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習表現を用いて、自分の考えや気持ち、事実などについて、適切に書いたり、話したりすることができる。 学習表現を用いて、自分考えや気持ち、事実を表現したり、質問をしたりすることができる。 学習表現を含む聞く活動、読む活動において、必要な情報や概要をとらえることができる。 より質の高い英文表現を目指して、書いたり、話したりすることができる。 答えを探すだけでなく、思考が必要な TASK について、考えて答えをだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を意欲的に聞き取ったり、理解しようとしたりする。 他との英語でのやりとりに関心を持ち、積極的に言語活動に参加しコミュニケーションを図ろうとする。 活動やパフォーマンステストの目的を理解し、学習した表現を使って積極的に英文に表現しようとする。 学習表現が用いられた英文を意欲的に書いたり、読んだりする。 より質の高い英文表現を用いて英文をいったり、書いたりしようとする。
	Lesson 2	現在完了形① Speech			
	Lesson 3	現在完了形② 自己 PR カード			
	Lesson 4	SVOC It is for ~to- の文 Speech			
	Let's Talk 1	道案内の仕方			
	Let's Talk 2	体調不良時の対応の仕方			
	Let's Talk 3	買い物での要望の伝え方			
	Let's Read 1	長文読解			
2 学期	Lesson 5	関係代名詞 Presentation	<ul style="list-style-type: none"> 表現の活動において、使用する言語材料の指示がなくてもその内容や英文の構成に適した表現を適切に、正しく使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> より質の高い英文表現を目指して、書いたり、話したりすることができる。 答えを探すだけでなく、思考が必要な TASK について、考えて答えをだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> より質の高い英文表現を用いて英文をいったり、書いたりしようとする。
	Lesson 6	後置修飾 Report			
	Let's Talk 4	すすめる表現			
	Let's Talk 5	電話の仕方			
	Let's Read 2	長文読解			
3 学期	Lesson 7	want 人 to ~ 間接疑問文 Writing	<ul style="list-style-type: none"> 表現の活動において、使用する言語材料の指示がなくてもその内容や英文の構成に適した表現を適切に、正しく使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> より質の高い英文表現を目指して、書いたり、話したりすることができる。 答えを探すだけでなく、思考が必要な TASK について、考えて答えをだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> より質の高い英文表現を用いて英文をいったり、書いたりしようとする。
	Let's Read 3 独自教材	長文読解 英作文 Listening			

評価	方法	スピーチなどの発表、個別面接、英作文などの自己表現を伴うパフォーマンステスト			
		グループ活動・ペア活動			
		語彙テスト			
		定期テスト			
評価	基準	①各評価場面での評価項目において、十分に満足できる状況を100%とした場合の、80%以上をA、50%以上をBとする。			
		②単元ごとのパフォーマンステストにおいては、生徒に事前に評価項目、規準を明示し、事後には項目ごとの評価を返却する。			
		③学期ごとにその学期内に実施した評価項目や個人の評価の結果を一覧にして、「学習の記録」として生徒・保護者に提示する。			